

運動機能障がいの理解のために

- 病気やケガなどで、手・足・体の一部または全身に障がいがあり、立つ・座る・歩く・食べるなど、生活する中で困ってしまうことがある状態です。
- 車イスや杖、義足などを使用している人がいます。外出は階段の昇り降り、横断歩道の段差、路上放置自転車道がふさがれているなど、行動がしづらい、移動のしづらい場面があります。



コミュニケーションのポイント

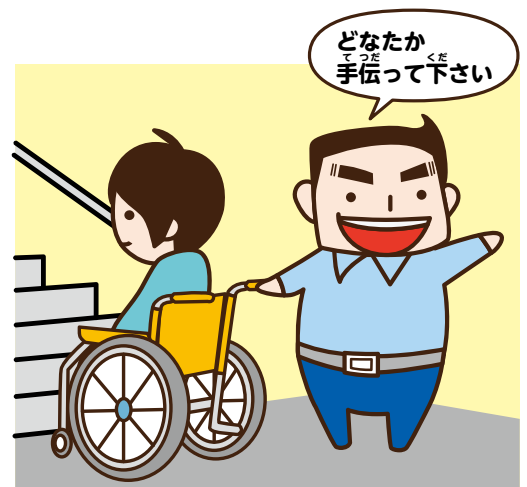
①ペースに合わせ、待つことも大切

本人のペースを大切に、表情、しぐさをよく観察し、サポートを行いましょう。時には、見守ることも必要です。サポートは、あくまで本人の自立的な生活を手助けする事にあります。そのため、何から何まで手を貸さずに、本人のやる気を大切に、時には見守ることも大切な事です。

②あせらず、無理はしない

サポートには、沢山の人の支援が必要な場合があります。無理なサポートは、危険であり、自分自身のケガにつながる場合があります。

もし、1人では無理な場合は、あせらず周りに協力を求め、安全・安心な方法でサポートを行ってください。



※ 介助する人が一緒にいる場合は、介助する人はサポートの立場ですので、本人に声を掛けましょう。決めるのは本人だということを忘れないでください。

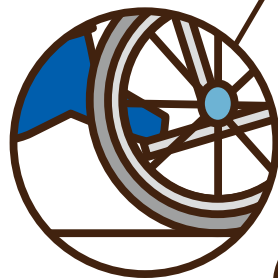
車イスを使用している方への手助けのポイント

段差の場合

・昇るとき

昇る手順は「持ち上げます」と声をかけます。

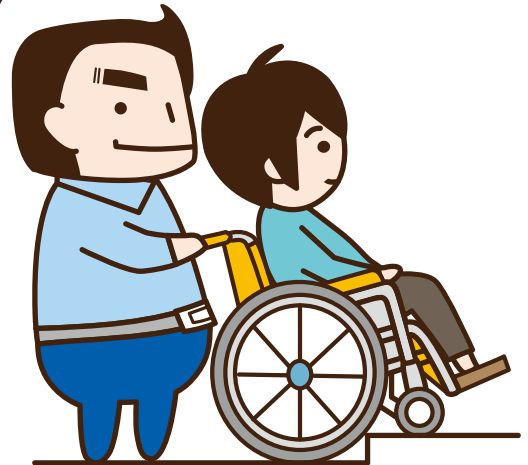
- ① ティッピングレバー（後車輪の内側の棒）を踏みます。
- ② 同時にハンドグリップ（持ち手）を押し下げて前輪キャスターを上げます。
- ③ 後車輪だけでバランスを保ちながら段差に近づきます。
- ④ 前輪キャスターを段に乗せてから後輪を押し上げます。



ティッピングレバー

・降りるとき

降りる手順は、後ろ向きになり「降ろします」と声をかけます。上がる時と逆の要領で、車イスの背を身体で支えながら衝撃を与えないようにそっと降ろします。



階段の場合

- ① ブレーキは必ず完全にかけてください。
- ② 持ち上げる時は、呼吸を合わせて車イスを持ち上げ、一歩一歩確認しながらゆっくりと進んでください。
- ③ 常に声掛けをしながら移動してください。

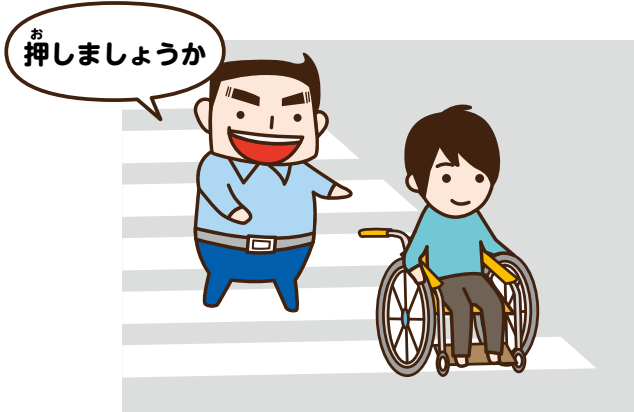
杖を使用している方への手助けのポイント

- ・杖を使用している人には、杖の反対側でサポートをしてください。

わたくし
私たちにできること

こんなときは、声を掛けてからお手伝いしましょう

きゆう さかみち おうだん ほどう でい ぐちなどの
急な坂道や横断歩道の出入り口などの
段差のある時



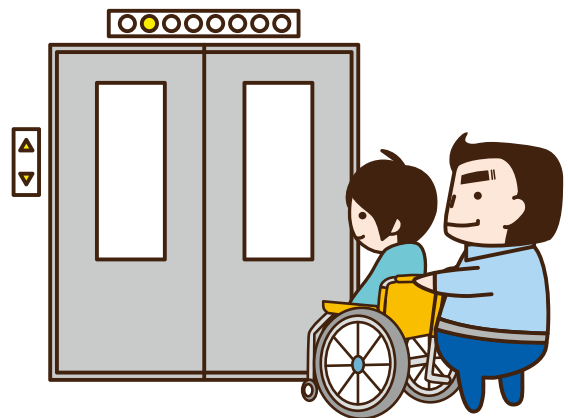
うえのもの ゆか じめん のもの とる時
上の物や床や地面の物をとる時



しゆどうのドアのあけしめの時
手動のドアの開け閉めの時



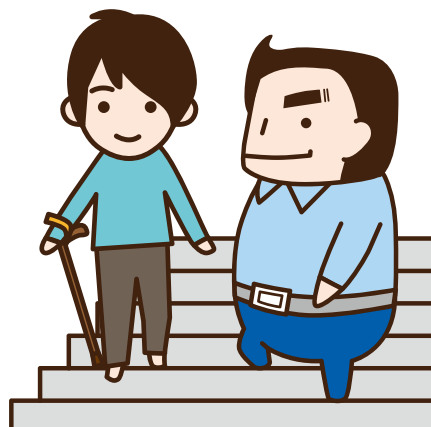
かいだんなどののぼりおろしの時
階段などの昇り降りの時
エレベーターやスロープへ案内してください



きつぷをかうなど細かいスイッチをおす時
切符を買うなど細かいスイッチを押す時



つえを使用してかいだんをおりている時
杖を使用して階段を降りている時

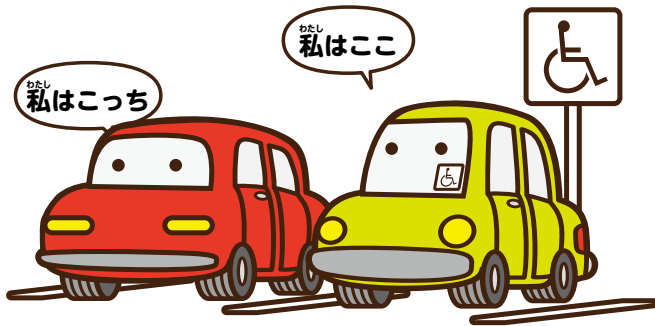


マナーとモラルの向上が大切です！

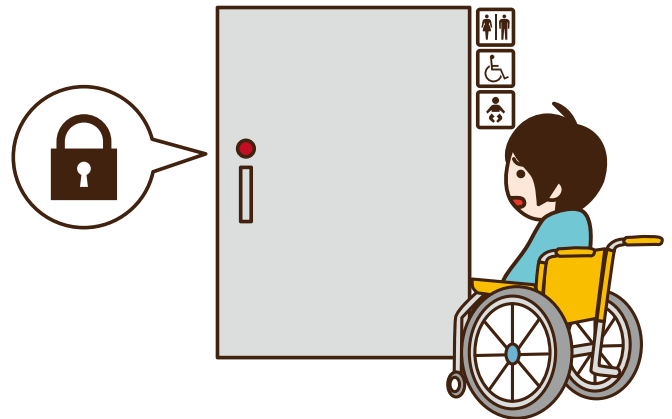
障がいのある人が、いつでも必要な時に必要な場所を利用できるように、身体障がい者用駐車場や多目的トイレなどがあります。一人ひとりのマナーとモラルの向上が必要です。

その場所を本当に必要としている人のことを考えましょう。

身体障がい者用駐車場



多目的トイレ



駐輪場所(歩道など)



おもいやり駐車場



譲り合い(公共交通機関など)

